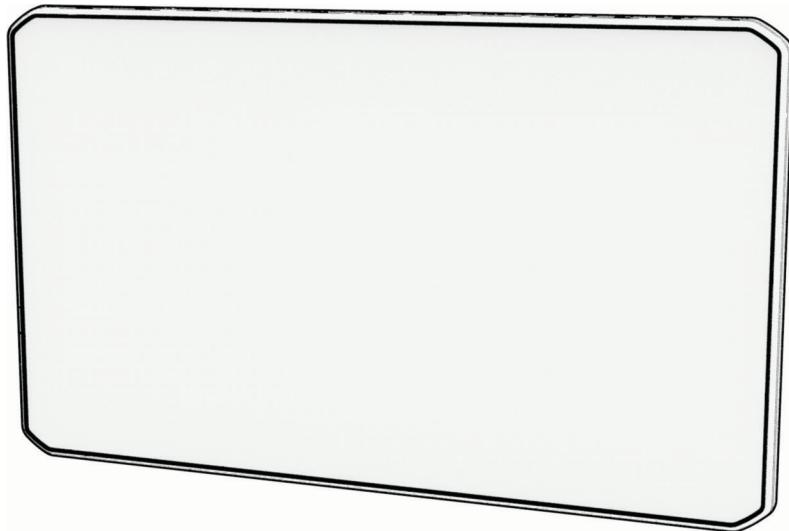


GARMIN[®]



GARMIN DRIVECAM™ 76

操作マニュアル

© 2022 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®およびGarmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Garmin Drive™、Garmin DriveCam™、Garmin Express™、および myTrends™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google LLC の商標です。Apple®、iPhone®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の登録商標です。BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。microSD®および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。Tripadvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

はじめに	1	音声を使用してデバイス設定を変更 ...	11
Garmin DriveCam デバイスの概要	1	ドライバーへの注意喚起の機能とアラート	11
ダッシュカメラのメモリカードを挿入する	2	ドライバーアラートを有効または無効にする	12
取り付けに関する注意事項	2	赤信号カメラとスピードカメラ	12
車両への Garmin DriveCam デバイスの取り付けと電源供給	3	高度運転者支援システム	12
デバイスの電源をオンまたはオフにする	4	進行アラート	12
GPS 信号を捕捉する	5	前方衝突警告システム	13
ステータスバーアイコン	5	車線逸脱警告システム	13
オンスクリーンボタンを使用する	5		
音量を調整する	6		
オーディオミキサーを使用する	6		
サウンドと音源を有効または無効にする	6		
画面の輝度を調整する	6		
ダッシュカメラ	6	位置の検索と保存を行う	15
カメラの位置を合わせる	6	検索バーを使用して位置を検索する ...	15
ダッシュカメラによる録画	7	住所を検索する	15
ダッシュカメラの録画の保存	7	場所検索の結果	16
ダッシュカメラによる録画を停止 / 開始する	7	検索エリアを変更する	17
オーディオの録音をオンまたはオフにする	7	ジャンル別施設	17
ビデオや写真を表示する	7	カテゴリーを入力して位置を検索する	17
コンピュータ上のビデオ	8	国立公園を検索する	18
ビデオまたは写真を削除する	8	Foursquare	18
Vault ストレージ	8	Tripadvisor	18
Vault サブスクリプションのアップグレード	8	場所内のジャンル別施設にナビゲーションする	19
ビデオを共有する	8	検索ツール	19
ビデオの編集とエクスポート	9	交差点を検索する	19
共有ビデオリンクを無効化	9	座標を使用して位置を検索する	19
Vault からのビデオの削除	9	駐車場	19
音声作動機能	9	現在の場所近くの駐車場を検索する	19
音声コマンドのヒント	9	指定した場所近くの駐車場を検索する	20
Garmin 音声案内ナビゲーションの起動	10	最近検索した位置を表示する	20
ナビゲーションを開始する	10	最近検索した場所のリストを消去する	20
音声コマンドを使用したカメラの制御	11	現在地情報を表示する	20
音声を使用して電話をかける	11	緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	20
		現在地への道順を表示する	20
		ショートカットを追加する	20
		ショートカットを削除する	21
		位置を保存する	21
		位置を保存する	21
		現在地を保存する	21
		保存した位置を編集する	21

保存した位置にカテゴリーを割り当てる	21	トリップ情報をリセットする	30
保存した位置を削除する	22	進行方向の交通事故を表示する	30
ルートに従う	22	地図上に交通渋滞情報を表示する	30
ルート	22	交通事故情報を検索する	30
ナビゲーションを開始する	22	地図をカスタマイズする	30
地図を使用してナビゲーションを開始する	22	地図レイヤーをカスタマイズする	30
帰宅する	22	地図データフィールドを変更する	31
地図上のルート	23	地図表示方法を変更する	31
アクティブ車線案内	24		
方向転換と方向指示を表示する	24		
地図にルート全体を表示する	24		
目的地に到着する	24		
目的地の近くの駐車場	25		
アクティブルートを変更する	25		
ルートに場所を追加する	25		
ルートを形成する	25		
迂回路を検索する	26		
ルート探索方法を変更する	26		
ルート上の環境ゾーンを回避する	26		
ナビゲーションを停止する	26		
推奨ルートを利用する	26		
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	26		
ルート上の交通遅延を回避する	26		
有料道路を回避する	27		
道路の回避機能	27		
環境ゾーンを回避する	27		
カスタム回避	27		
地図を使用する	28	[トライフィック]	36
地図ツール	28	スマートフォンを使用してトライフィックデータを受信する	36
地図ツールを表示する	28	トライフィックを有効にする	36
この先	29	地図上に交通渋滞情報を表示する	36
この先の場所を表示する	29	交通事故情報を検索する	36
[この先]カテゴリーをカスタマイズする	29		
次の都市まで	29		
この先の都市や出入口サービスの表示	29		
トリップ情報	29		
地図からトリップデータを表示する	29		
トリップデータを表示する	30		
軌跡ログを表示する	30		
アプリケーションを使用する	36		
デバイスのマニュアルの表示	36		
天気予報を表示する	37		
別の都市周辺の天気を表示する	37		
気象観測レーダーを表示する	37		
気象警報を表示する	37		
道路状況を確認する	37		
ルートプランナー	37		

ルートを計画する	38	Garmin サポートセンター	46
ルートの場所を編集および並べ替える	38	地図やソフトウェアの更新	47
ルートのルートオプションを変更する	38	Wi-Fi ネットワークへの接続	47
保存したルートまでナビゲーションする	38	Wi-Fi ネットワークの使用による地図	
アクティブルートを編集および保存する	39	とソフトウェアの更新	48
ワイヤレスカメラ	39	Garmin Express による地図とソフト	
デバイスをワイヤレスカメラにペアリングする	39	ウェアの更新	49
ワイヤレスカメラの表示	39	デバイスのお手入れ	50
前のルートと目的地を表示する	40	外側ケースのクリーニング	50
ミュージックプレイヤー	41	タッチスクリーンのクリーニング	50
マップにミュージックプレイヤーツールを追加する	41	カメラレンズのクリーニング	51
設定	41	盗難防止	51
地図および車両設定	41	デバイスを再起動する	51
地図を有効にする	42	デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	51
ナビゲーション設定	42	マウントからデバイスを取り外す	51
計算モードの設定	42	吸着カップからマウントを取り外す	51
シミュレートされた場所を設定する	42	フロントガラスから吸着カップを取り外す	51
環境ゾーン車両プロフィールの追加	42		
ワイヤレスネットワーク設定	43		
運転者支援の設定	43		
近接アラート設定	43		
ダッシュカメラの設定	44		
ワイヤレスカメラ設定	44		
バックアップカメラ設定	44		
ディスプレイ設定	44		
トラフィック設定	45		
単位および時間設定	45		
時間を設定する	45		
言語およびキーボード設定	45		
デバイスおよびプライバシー設定	45		
データと設定をリセットする	46		
デバイス情報	46		
E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示	46		
仕様	46		
デバイスを充電する	46		
デバイスのメンテナンス	46		
Garmin サポートセンター	46		
地図やソフトウェアの更新	47		
Wi-Fi ネットワークへの接続	47		
Wi-Fi ネットワークの使用による地図			
とソフトウェアの更新	48		
Garmin Express による地図とソフト			
ウェアの更新	49		
デバイスのお手入れ	50		
外側ケースのクリーニング	50		
タッチスクリーンのクリーニング	50		
カメラレンズのクリーニング	51		
盗難防止	51		
デバイスを再起動する	51		
デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	51		
マウントからデバイスを取り外す	51		
吸着カップからマウントを取り外す	51		
フロントガラスから吸着カップを取り外す	51		
データ管理	51		
メモリカードについて	51		
地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	52		
ダッシュカメラのメモリーカードのフォーマット	52		
デバイスをコンピュータに接続する	52		
コンピュータからデータを転送する	52		
USB ケーブルを取り外す	53		
トラブルシューティング	53		
録画したビデオがぼやけている	53		
メモリカードが劣化して、交換する必要がある	53		
録画したビデオが途切れる / 不完全	53		
吸盤がフロントガラスに取り付けられない	54		
デバイスで衛星信号を受信できない	54		
充電しても電池の電力が長持ちしない	54		
デバイスがスマートフォンに接続されません	54		
付録	54		
GPS 信号ステータスを表示する	54		
追加の地図を購入する	54		
アクセサリーを購入する	54		

欧洲排出ガス基準 55

はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

- ・ カメラのメモリーカードを取り付けます。
- ・ デバイスで地図とソフトウェアを更新します (地図やソフトウェアの更新, 47 ページ)。
- ・ デバイスを車両に取り付けて電源に接続します (取り付けに関する注意事項, 2 ページ)。
- ・ ダッシュカムの位置を合わせます。
- ・ GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 5 ページ)。
- ・ 音量を調整し (音量を調整する, 6 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 6 ページ)。
- ・ 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 22 ページ)。

Garmin DriveCam デバイスの概要



①	音声コマンド / ハンズフリー通話用マイク
②	電源キー
③	USB 電源およびデータポート
④	カメラのメモリーカードスロット
⑤	地図およびデータメモリーカードスロット

ダッシュカメラのメモリカードを挿入する

デバイスで内蔵のダッシュカメラからビデオを録画する前に、メモリカードを挿入する必要があります。カメラには、8~512 GB、速度レートクラス 10 以上の microSD®メモリーカードが必要です。付属のメモリカードを使用するか、家電販売店から互換性のあるメモリカードを購入して使用することができます。

注：メモリカードは同梱されているため、デバイスを箱から取り出して、すぐに使用することができます。すべてのメモリカードには寿命があり、定期的に交換する必要があります。メモリカードが耐用期間を超過し、交換の必要がある場合は、デバイスに警告が表示されます。トラブルシューティングのヒントに従うと、メモリーカードの耐用期間を延長することができます（[メモリカードが劣化して、交換する必要がある](#)、53 ページ）。

- 1 カメラのメモリーカードスロット②にメモリーカード①を挿入します。

注：間違ったスロットにメモリーカードを挿入すると、カメラでビデオを録画できません。



- 2 カチッと音がするまで押し込んでください。

取り付けに関する注意事項

- ドライバーが道路見えにくくなるような場所にはデバイスを取り付けないでください。

⚠️ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

- 電源ケーブルを安全に配線できる場所を選択します。

⚠️ 警告

デバイスを車両に取り付けるときは、デバイスと電源ケーブルをしっかりと取り付けて、車両の操作制御に干渉しないようにします。車両の操作制御に干渉すると、衝突が発生して、負傷または死亡につながるおそれがあります。

- デバイスが音声をはっきりと聞き取れる場所を選択します。
デバイスをスピーカーや通気孔の近くに置かないでください。これらはマイクに干渉するノイズを発生する可能性があります。
- 手が届きやすい場所を選択してください。
- ダッシュカメラから道路をはっきりと見渡せる場所を選択します。
車両のフロントガラスのワイパーがダッシュカメラの前のフロントガラスエリアにないことを確認し、フロントガラスのスモーク部の後ろにダッシュカメラを配置しないようにしてください。
- マウントを取り付ける前に、フロントガラスを十分に清掃します。

車両への Garmin DriveCam デバイスの取り付けと電源供給

⚠️ 警告

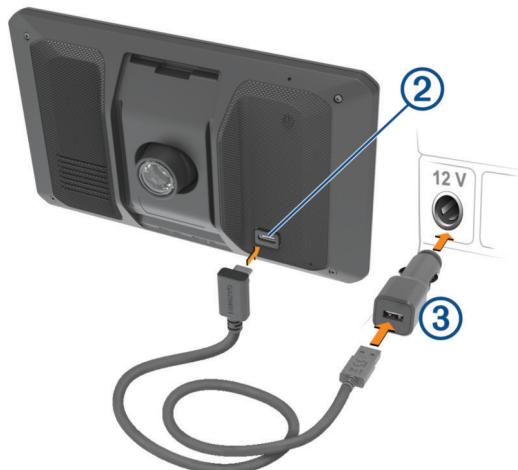
この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

1 吸盤をフロントガラスに押し付け、レバー①をフロントガラスの方に倒します。



2 車両電源ケーブルをデバイスの USB ポート②に差し込みます。



- 3 車両電源ケーブルのもう一方の端③を車両の電源コンセントに差し込みます。
- 4 マウントの下部にあるタブをデバイスの背面にあるスロット④に合わせ、カチッと音がするまでデバイスをマウントに押し込みます。



デバイスの電源をオンまたはオフにする

- ・ デバイスの電源をオンにするには、電源ボタン①を押すか、デバイスを電源に接続します。



- ・ デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源ボタンを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- ・ デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源ボタンを押し続け、Offを選択します。
5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS 信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

1 デバイスの電源をオンにします。

2 デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。

3 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 54 ページ)。
	Bluetooth® テクノロジのステータス Bluetooth の設定を表示するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 43 ページ)。
	Wi-Fi 信号強度 Wi-Fi 設定を変更するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 43 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み 電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 34 ページ)。
9:10	現在の時刻 時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 45 ページ)。
	バッテリー充電レベル
	Garmin Drive™ アプリの接続ステータス (スマートフォンとペアリングする, 31 ページ)。
53°	温度 天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 37 ページ)。
	ダッシュカーナビの録画ステータス ダッシュカーナビのコントロールを開くときに選択します。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニュー オプションを操作できます。

- 左矢印を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- 左矢印を押し続けるとすばやくメインメニューに戻ることができます。
- 上矢印または下矢印を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- 上矢印または下矢印を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- 三線を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

- 1 を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・スライダーを使用して、音量を調整します。
 - ・デバイスをミュート（消音）にするには、を選択します。
 - ・チェックボックスを選択して、詳細なサウンドオプションを有効または無効にします。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

- 1 を選択します。
- 2 **Mixer**を選択します。
- 3 スライダーを使用して、各タイプの音量を調節します。

サウンドと音源を有効または無効にする

他の音源に影響を与える前に、特定の音源とシステムサウンドのオン / オフを切り替えることができます。

- 1 を選択します。
- 2 **Sounds**セクションで、次のオプションを選択します。
 - ・デバイスがナビゲーションプロンプトと方向を読み上げるようにするには、**Spoken Navigation** チェックボックスをオンにします。
 - ・デバイスが交通アラートとプロンプトを読み上げるようにするには、**Spoken Traffic Alerts** チェックボックスをオンにします。
 - ・ドライバーへの注意喚起アラートがトリガされたときにデバイスが通知音を再生するようにするには、**Alerts and Tones** チェックボックスをオンにします。
 - ・オンスクリーンボタンをタッチしたときにデバイスがサウンドを再生するようにするには、**Button Presses** チェックボックスをオンにします。

画面の輝度を調整する

- 1  > **Display** > **Brightness**の順に選択します。
- 2 スライダーを使用して、輝度を調整します。

ダッシュカメラ

カメラの位置を合わせる

警告

運転中にカメラの位置合わせを行わないでください。注意が散漫になり、事故につながって重傷を負ったり死亡する可能性があります。

カメラの位置が合っていないと、高度運転者支援機能が正しく機能しない場合があります。ダッシュカメラを取り付けたり配置を変更するたびに、その位置合わせを行う必要があります。

- 1  > **Dash Cam** > **Camera Placement**の順に選択します。
- 2 **Horizontal Placement**を選択し、フロントガラスのデバイスの横方向の位置を選択します。
- 3 **Vehicle Height**を選択し、車両タイプを選択します。
- 4 **Alignment**を選択します。
- 5 デバイスを傾けて、カメラを左または右に回転させ、カメラの位置合わせをします。
カメラがまっすぐに向いて、水平線が画面の上下の中央にある必要があります。

ダッシュカメラによる録画

注記

一部の管轄区域では、音声や映像の記録、写真撮影を禁止または規制している場合があります。管轄区域では、すべての関係者が記録についての知識を持ち、音声や映像の記録または写真撮影を行う前に同意の提供を求められる場合があります。管轄区域のすべての法律、規制、およびその他の制限事項を把握し、これに従う責任はお客様にあります。

ダッシュカメラはビデオをカメラのメモリーカードに記録します。デフォルトでは、デバイスをオンになるとすぐにビデオ録画を開始し、オフになるまで録画を続けます。メモリーカードがいっぱいになると、デバイスは未保存の最も古いビデオを自動的に削除して、新しいビデオ用のスペースを確保します。

未保存のビデオをすぐに削除するオプションを有効にすると、デバイスは3分超経過した未保存のビデオを継続的に削除し、電源を切るたびに未保存のビデオをすべて削除します。この機能はカメラ設定で無効にすることができます ([ダッシュカメラの設定](#), 44 ページ)。

ビデオ録画を保存して、上書きまたは削除されないようにすることができます。

ダッシュカメラの録画の保存

新しいビデオで上書きされないように、録画済みのビデオの一部を保存できます。デフォルトでは、デバイスはセンサを使用して偶発的な衝突の可能性を検出し、検出したイベントの前、最中、および後のビデオ映像を保存します。ビデオはいつでも手動で保存することもできます。

1 ダッシュカメラの録画中に、**Dash Cam** >  を選択します。

デバイスは、 を選択する前、最中、および後のビデオ映像を保存します。

2  を再度選択すると、保存される録画時間を延長できます (オプション)。

ビデオが保存されていることを示すメッセージが表示されます。

メモリカードの記録容量には限りがあります。ビデオ録画を保存したら、コンピュータなどの外部ストレージの場所に転送して、永続的に保管する必要があります ([コンピュータ上のビデオ](#), 8 ページ)。

ダッシュカメラによる録画を停止 / 開始する

1 **Dash Cam** を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 録画を停止するには、 を選択します。

ヒント：デフォルトでは、デバイスを次回オンにすると、録画は自動的に開始されます。このオプションはカメラ設定で無効にすることができます ([ダッシュカメラの設定](#), 44 ページ)。

- 録画を開始するには、 を選択します。

オーディオの録音をオンまたはオフにする

注記

一部の管轄区域では、車内での音声録音を禁止していたり、車内で音声を録音する前に、すべての乗客が録音について認識して同意することを要求している場合があります。お客様の責任において、管轄区域の法律と制限をすべて認識し、それを遵守する必要があります。

このデバイスでは、ビデオの録画中に内蔵のマイクを使用してオーディオを録音できます。オーディオの録音はいつでもオンまたはオフにすることができます。

 > **Dash Cam** > **Record Audio** を選択します。

ビデオや写真を表示する

注：ビデオや写真的再生中は、ビデオの録画が停止されます。

1 **Gallery** > **Yes** を選択します。

2 ビデオまたは写真を選択します。

デバイスにビデオまたは写真が表示されます。ビデオの再生は自動的に始まります。ビデオまたは写真に位置情報が含まれる場合は、地図にその位置が表示されます。

コンピュータ上のビデオ

メディアは、カメラのメモリーカードの DCIM フォルダに保存されます。ビデオは MP4 ファイル形式で保存され、写真は JPG 形式で保存されます。メモリーカードまたはデバイスをコンピュータに接続すると、メディアを表示したり転送したりできます (デバイスをコンピュータに接続する, 52 ページ)。

メディアが複数のフォルダに分類されます。

100EVENT: デバイスによるインシデント検出時に自動保存されたビデオが格納されます。

101PHOTO: 写真が格納されます。

102SAVED: ユーザーが手動で保存したビデオが格納されます。

105UNSVD: 未保存のビデオ映像が格納されます。未保存のビデオのストレージ容量が不足すると、最も古い未保存のビデオが上書きされます。

ビデオまたは写真を削除する

- 1 **Gallery** > **Yes** を選択します。
- 2 ビデオまたは写真を選択します。
- 3  > **Yes** の順に選択します。

Vault ストレージ

注: この機能はすべての国で利用できるわけではありません。

Vault を使用して、安全なオンラインストレージドライブにダッシュカーナビゲーションの映像をアップロード、管理、共有できます。ダッシュカーナビゲーションは、Wi-Fi® ネットワークに接続されている間、保存されたビデオを Vault に自動的にアップロードします。

Garmin Drive アカウントを使用すれば、ビデオを最大 24 時間まで Vault に保存できます。保管できるデータ量にサイズ制限はありません。お使いのスマートフォンの Garmin Drive アプリからオプションの Vault サブスクリプションを購入すると、保管時間を延長できます。

注: この機能を使用するには、ダッシュカーナビゲーションが Wi-Fi ネットワークに接続されている必要があります。

Vault サブスクリプションのアップグレード

オプションの Vault サブスクリプションを購入すると、保管時間を延長できます。

- 1 スマートフォンの Garmin Drive アプリから、 > **Vault アクセス** > **さらに時間が必要ですか?** を選択します。
- 2 画面に表示される手順に従います。

ビデオを共有する

Vault から、ダッシュカーナビゲーションへの安全なリンクを共有できます。

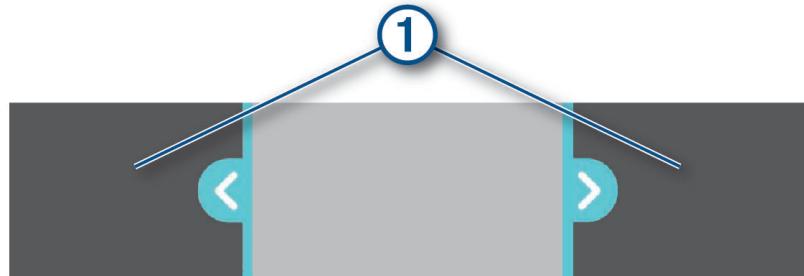
- 1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、**Vault** を選択します。
- 2 ビデオを選択し、**安全な共有**を選択します。
- 3 画面に表示される手順に従います。

ビデオの編集とエクスポート

ビデオを Vault にエクスポートする前に、ビデオの長さをカットして不要な映像を削除できます。

注：Vault に保存されているビデオはトリムできません。

- 1 ビデオの表示中に、ビデオ進行状況バーのトリミングハンドル ① を左右にドラッグして、ビデオの長さをトリミングします。



- 2 オーディオを含めるチェックボックスをオンにして、録音されたオーディオを含めます（オプション）。

- 3 >を選択するか、エクスポートを選択します。

注：ビデオのエクスポート中は、アプリを前面に表示しておく必要があります。

アプリは、トリミングされたビデオを Vault にエクスポートし、スマートフォンに保存します。

- 4 ビデオのエクスポートが完了したら、オプションを選択します（オプション）。

- ・ カメラのメモリーカードからビデオを削除するには、カメラから削除を選択します。
- ・ ギャラリーに戻るには、>を選択するか、完了を選択します。

共有ビデオリンクを無効化

Vault から以前に共有したビデオへのリンクを無効にすることができます。共有ビデオリンクを無効にすると、ビデオは非公開に設定され、共有リンクとパスコードが無効になります。

- 1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、Vault を選択します。

- 2 ビデオを選択し、リンクを無効にする > 続行を選択します。

Vault からのビデオの削除

- 1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、Vault を選択します。

- 2 ビデオを選択し、{0}から削除する > 続行を選択します。

音声作動機能

⚠ 警告

Garmin DriveCam デバイスでは自然言語処理を使用して、口頭でのリクエストの意図を理解します。完全なセンテンスを使用して、自然言語で質問したり、コマンドを発声できます。マニュアルには多くのフレーズ例が記載されていますが、最も使いやすい言語でデバイスに話しかけて試すことができます。

Garmin[®]音声案内ナビゲーションを使用すると、場所や住所を検索したり、進路変更指示によるルートを開始したり、ハンズフリー通話を発信できます。Garmin 音声案内ナビゲーションを起動するには、OK, Garmin に続けてリクエストを発声します。

注：この機能を利用できない製品モデルまたは言語があります。

音声コマンドのヒント

- ・ デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- ・ 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの案内に応答します。

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
 - OK, Garmin, take me home.
 - OK, Garmin, where's the library?

ナビゲーションを開始する

保存した場所に音声で移動

保存した場所に移動するときは、Garmin DriveCam デバイスでルートを開始すると便利ですが、すでに行き方がわかっている場合もあります。デバイスを使用すると、ルートに影響を与える可能性のある交通渋滞や工事を回避できます。

次のようなフレーズを発声すると、保存した場所へのルートを開始できます ([位置を保存する, 21 ページ](#))。

- OK, Garmin, take me home.
- OK, Garmin, take me to work.
- OK, Garmin, start a route to school.

音声を使用して住所へ移動する

以下のようなフレーズを発声すると、近くの住所や特定の都市の住所へのルートを開始できます。

- OK, Garmin, take me to One Garmin Way.
- OK, Garmin, start a route to twelve hundred East 151st Street in Olathe, Kansas.

音声を使用して会社または名前付きの場所に移動する

以下のようなフレーズを発声すると、名前またはカテゴリで会社または場所を検索してナビゲートできます。

近くの場所

- OK, Garmin, find a coffee shop.
- OK, Garmin, where's the library?
- OK, Garmin, take me to Starbucks.

別の都市に近い場所

- OK, Garmin, find Mexican food near Denver, Colorado.
- OK, Garmin, find The Field Museum near Chicago, Illinois.
- OK, Garmin, find Casa Bonita near Denver, Colorado.

交差点の近くの場所

- OK, Garmin, find barbecue near 12th Street and Vine Street.
- OK, Garmin, find Arthur Bryant's Barbecue near 12th Street and Vine Street.

音声で都市または交差点に移動

以下のようなフレーズを発声すると、都市や交差点を検索して移動できます。

- OK, Garmin, find Chandler, Arizona.
- OK, Garmin, find Michigan Avenue and Erie Street.

到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

OK, Garmin, what time will we arrive?と話しかけます。

音声を使用してルートを停止する

以下のようなフレーズを発声すると、ルートのナビゲーションを停止できます。

- OK, Garmin, stop the route.
- OK, Garmin, stop navigating.

音声コマンドを使用したカメラの制御

- 1 音声制御機能を有効にするには、**OK Garmin** と発話します。
カメラからトーン音が鳴り、コマンドの聞き取りが開始されます。
- 2 コマンドを発話してください。
 - ・ビデオを保存するには、**Save Video** と発話します。
 - ・写真を撮るには、**Take a picture** と発話します。コマンドが認識されると、カメラからトーン音が鳴ります。

音声を使用して電話をかける

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

OK, Garmin, call と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、*OK, Garmin, call Mom.* と言います。

音声を使用してデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量を 0~10 の値に設定できます。

- ・ *OK, Garmin, increase the volume.*
- ・ *OK, Garmin, set the volume to 0.*
- ・ *OK, Garmin, set the volume to 9.*
- ・ *OK, Garmin, decrease the brightness.*
- ・ *OK, Garmin, set the brightness to 5.*

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

△ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度(ある場合)を表示します。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

一方通行を逆走しています: 一方通行を逆走している場合、デバイスはメッセージを再生し、全画面の警告を表示します。一方通行路を離れるか走行方向を正しくするまで、画面の縁が赤色で表示され、アラートが画面上部に表示されたままになります。

踏切: デバイスには、次の踏切までの距離が表示されます。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります([\[ト ラ フ ィ ク \]](#), 36 ページ)。

工事ゾーン: 工事ゾーンに接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

車線閉鎖: 車線閉鎖に接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

休憩の計画: 長時間運転し続けていると、デバイスが通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

前方衝突警告: デバイスは、自車と前走車との間に安全な車間距離ないことを検出すると警告を発します。

車線逸脱警告: デバイスは、意図せず車線境界を越えている可能性があることを検出すると、警告を出します。

進行アラート: 停止していた交通の流れが動き出すと、デバイスは通知音を再生し、アラートを表示します。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

- 1  > **Driver Assistance** > **Driver Alerts** の順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注: この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

高度運転者支援システム

このデバイスは高度運転支援システム (ADAS) を搭載しています。このシステムは、内蔵のダッシュカムを用いて、運転環境に関する警告やアラートを出します。

Driver Assistance 設定 ([運転者支援の設定, 43 ページ](#)) で、各高度運転支援システム機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

進行アラート

車両前方で停止していた交通の流れが再び動き出すと、進行アラートは通知音を再生し、アラートを表示します。前の車両が相当の距離を動いてもお客様の車両が停止したままの場合にのみ、このアラートは表示されます。これは、停止信号のときや渋滞の中にいるときに便利な場合があります。この機能は、ダッシュカムを使用して車両の停止や移動を検知するため、道路の視界が良好であることが必要です。



前方衝突警告システム

△ 警告

前方衝突警告システム (FCWS) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。FCWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。詳細については、garmin.com/warnings を参照してください。

FCWS 機能は、自車と前走車の間に安全な車間距離がないことをデバイスが検出すると警告を発します。このデバイスは、GPS を使用して車速を判定し、車速に基づいて推定される安全な追従距離を計算します。FCWS は、車速が 65 km/h (40 mph) を超えると自動的に作動します。

前走車に近すぎることをデバイスが検出すると、デバイスが警告音を鳴らして、画面に警告が表示されます。



Forward Collision Warning

前方衝突警告システムの性能に関するヒント

前方衝突警告システム (FCWS) の性能は、複数の要因により影響を受けます。条件によっては、FCWS 機能で前方の車両を検出できないことがあります。

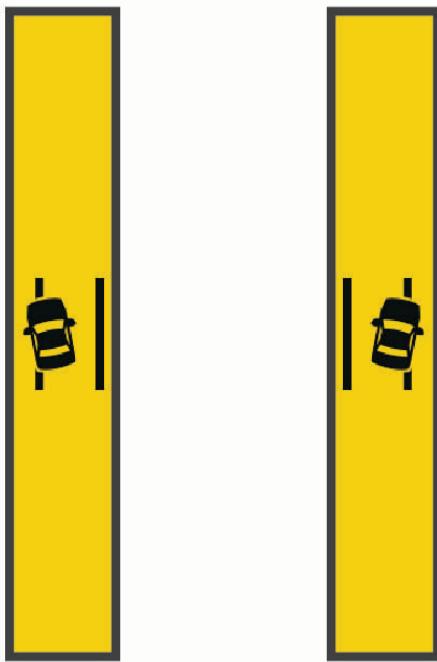
- FCWS 機能は、車速が 65 km/h (40 mph) を超えた場合にのみ作動します。
- FCWS 機能は、車載カメラの視界が雨、霧、雪、太陽やヘッドライトの眩しさ、または暗さにより遮られると、前方の車両を検出できないことがあります。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、FCWS 機能は正しく機能しないことがあります。
- FCWS 機能では、40 m (130 ft.) よりも遠くの車両や、5 m (16 ft.) よりも近くの車両を検出できないことがあります。
- カメラの配置設定が、車両の高さや車両内でのデバイスの配置を正しく示していない場合、FCWS 機能は正しく動作しないことがあります。

車線逸脱警告システム

△ 警告

車線逸脱警告システム (LDWS) 機能は情報提供のみを目的としているため、お客様はあらゆる道路および運転状況を監視し、すべての交通規制に従い、常に安全な運転の判断を行う義務があります。LDWS は、接近する車両を音声で警告する際にカメラを利用します。そのため、見通しが悪い状況では正しく機能しない場合があります。詳細については、garmin.com/warnings を参照してください。

LDWS 機能では、無意識に車線境界をはみ出している可能性をデバイスが検出したときに警告を出します。たとえば、塗装された車線境界を越えると、デバイスが警告を発します。LDWS 機能は、車速が 65 km/h (40 mph) を超えている場合にのみ警告を出します。警告は画面の左側または右側に表示され、どちらの車線境界をはみ出したのかを示します。



注：最高の LDWS 性能を得るには、Camera Placement オプションを設定して、自車内のデバイスの位置を示す必要があります。

カメラの配置を設定する

このデバイスは、フロントガラスまたはダッシュボードの左、中央、または右に取り付けることができます。最高の LDWS 性能を得るには、Camera Placement オプションを設定して、車両内のデバイスの位置を指定する必要があります。

1  > Dash Cam > Camera Placement > Horizontal Placement の順に選択します。

2 デバイスの位置を選択します。

車線逸脱警告の性能に関するヒント

車線逸脱警告システム (LDWS) の性能は、複数の要因により影響を受けます。状況によっては、LDWS 機能で車線逸脱を検出できないことがあります。

- LDWS 機能は、車速が 65 km/h (40 mph) を超えている場合にのみ警告を出します。
- カメラの位置合わせが不適切な場合、LDWS 機能は正しく動作しないことがあります。
- カメラの配置設定が、車両の高さや車両内でのデバイスの配置を正しく示していない場合、LDWS 機能は正しく動作しないことがあります。
- LDWS 機能では、車線区画線をはっきりと連続して視認できる必要があります。
 - 車線区画線が雨、霧、雪、大きな影、太陽やヘッドライトの眩しさ、道路工事、またはその他の視覚的な障害物により遮られている場合、車線逸脱が検出されないことがあります。
 - 車線区分線の位置が合っていない、欠落している、またはかなり摩耗している場合、車線逸脱が検出されないことがあります。
- LDWS 機能では、極端に広い、狭い、または曲がりくねった道路では、車線逸脱が検出されないことがあります。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。Where To?メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで **Where To?**を選択します。

- デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、**Search** を選択します (検索バーを使用して位置を検索する, 15 ページ)。
- 住所を検索するには、**Address** を選択します (住所を検索する, 15 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、**Categories** を選択します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 17 ページ)。
- 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある📍を選択します (検索エリアを変更する, 17 ページ)。
- 保存済み位置情報を表示および編集するには、**Saved** を選択します (位置を保存する, 21 ページ)。
- 検索結果から最近選択した場所を表示するには、**Recent** (最近検索した位置を表示する, 20 ページ)を選択します。
- Foursquare®のジャンル別施設を参照および検索するには、**Foursquare® (Foursquare のジャンル別施設を検索する, 18 ページ)**。
- Tripadvisor®トラベラー評価を参照および検索するには、**Tripadvisor** を選択します (Tripadvisor, 18 ページ)。
- 国立公園を検索して、公園地図を参照するには、**National Parks** (国立公園を検索する, 18 ページ)。
- 特定の地理座標に移動するには、**Coordinates** を選択します (座標を使用して位置を検索する, 19 ページ)。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 **Where To?**を選択します。
- 2 検索バーで **Search** を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - 入力したテキストを使用して検索するには、📍を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

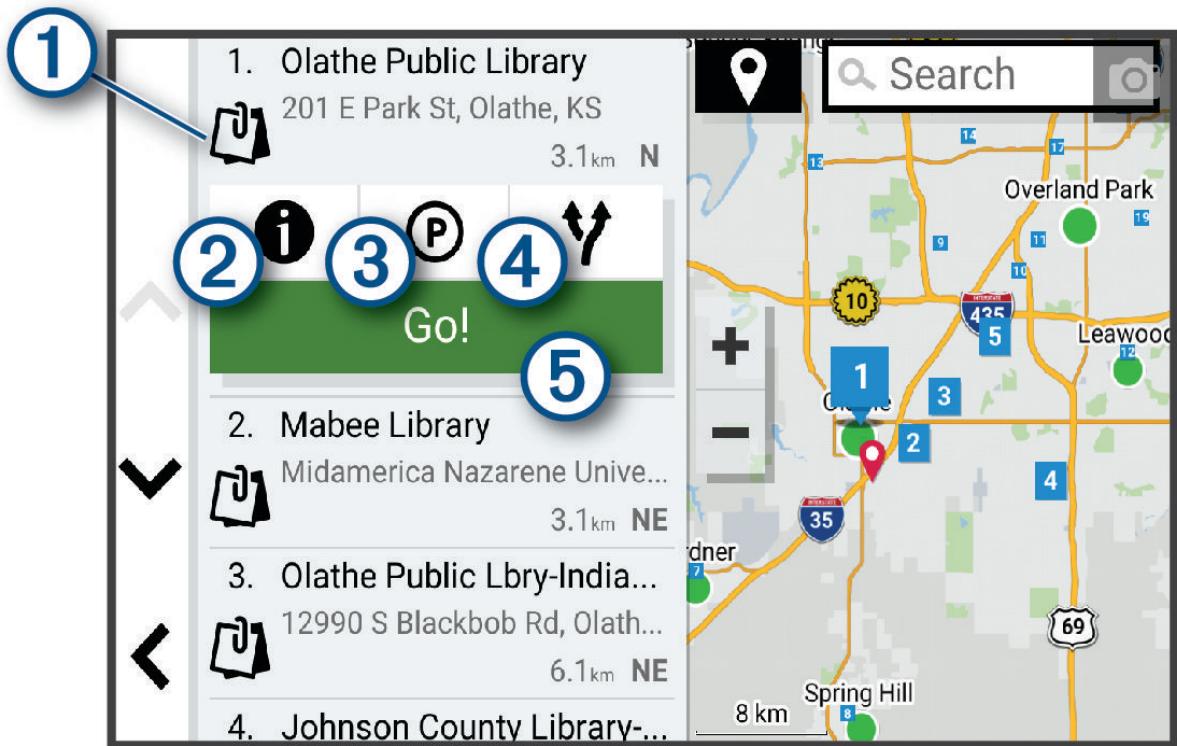
住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 **Where To?**を選択します。
- 2 必要に応じて、📍を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 **Address** を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。



①

場所を選択してオプションメニューを表示します。

② i

選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。

③ P

選択して、場所の近くの駐車場を検索します。

④ ↗

選択すると、場所への代替ルートが表示されます。

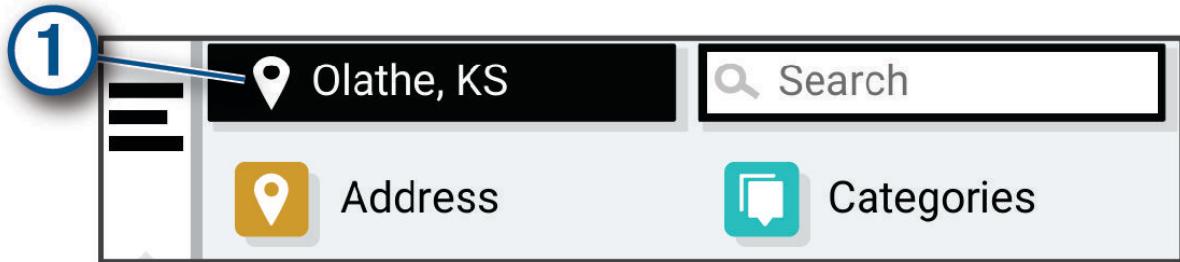
⑤ Go!

選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 Where To?を選択します。
- 2 現在の検索エリア①の横にある📍を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。
- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアが📍の横に表示されます。Where To?メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

ジャンル別施設

注記

ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 Where To?を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または Categories を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクリックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 Where To? > Categories の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・画面右側のクリックサーチリストから、目的地を選択します。
クリックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - ・必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

国立公園を検索する

北米または米国の地図が付属するデバイスモデルには、米国の国立公園の詳細情報も含まれています。国立公園または国立公園内の場所へのナビゲーションすることができます。

1 Where To? > National Parks の順に選択します。

国立公園が、現在地から近い順に一覧で表示されます。

2 Search を選択して、公園名のすべてまたは一部を入力して、結果を絞り込みます（オプション）。

3 国立公園を選択します。

公園内の機能や施設のカテゴリリストが公園名の下に表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- 公園までのナビゲーションを開始するには、Go!を選択します。
- 公園の詳細情報、機能、施設を確認するには、**i** を選択します。
- 公園内の場所をすばやく検索するには、公園名の下のリストからカテゴリを選択して、場所を選択します。

国立公園の機能と施設を探索する

北米の製品モデルでは、国立公園内で利用できる主要な場所や設備に関する詳細情報を調べたり、公園内の特定の場所に移動できます。例えば、キャンプ場、ランドマーク、ビジターセンター、人気のアトラクションなどを検索できます。

1 場所検索の結果から、国立公園を選択します。

公園の機能と施設のカテゴリが一覧で表示されます。

2 カテゴリーを選択します。

3 場所を選択し、Go!を選択します。

Foursquare

注記

Garmin は、Foursquare によって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設（POI）に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

Where To? > Foursquare® の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare 位置情報とユーザー評価を表示できます。

1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。

2 **i** を選択します。

Tripadvisor

注記

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設（POI）に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トランベラ評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト（レストラン、ホテル、アトラクション）の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えすることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 Where To? > Tripadvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 4 表示された関心スポットを距離または人気度でフィルタリングするには、Sort Results を選択します (オプション)。
- 5 を選択し、検索項目を入力します (オプション)。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 Where To? > Search の順に選択します。

- 2 場所の名前を入力し、を選択します。

- 3 場所を選択します。

場所内にある POI のカテゴリストが表示されます。

- 4 カテゴリ、場所を選択し、Go!を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 Where To? > Intersections の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 Where To? > Coordinates の順に選択します。
- 2 必要に応じてを選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 座標を場所として保存するには、Save を選択します。
 - ・ その座標までのルートを開始するには、Go!を選択します。

駐車場

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 Where To? > Categories > Parking の順に選択します。
- 2 駐車場を選択します。
- 3 Go!を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

- 1 **Where To?**を選択します。
- 2 位置情報を検索します。
- 3 位置検索結果から位置を選択します。
- 4 **P**を選択します。
選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。
- 5 駐車場を選択します。
- 6 **Go!**を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

Where To? > Recent の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

Where To? > Recent >  > Clear > Yes の順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 **Hospitals、Police Stations、または Fuel** を選択します。
注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。
選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ その場所までのナビゲーションが開始するには、**Go!**を選択します。
 - ・ 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**①**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 ** > Directions to Me** の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 **Select** を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 **Where To? > Add Shortcut** の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 Where To? >  > Remove Shortcut(s)の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 Done を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 17 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3  > Save の順に選択します。
- 4 必要に応じて、名前を入力し、Done を選択します。
- 5 Save を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 Save を選択します。
- 3 名前を入力し、Done を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 Where To? > Saved の順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4  を選択します。
- 5  > Edit を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - Name を選択します。
 - Phone Number を選択します。
 - カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、Categories を選択します。
 - 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、Map Symbol を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 Done を選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を 12 件以上保存すると、カテゴリーが [保存した位置] メニューに表示されます。

- 1 Where To? > Saved の順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3  を選択します。
- 4  > Edit > Categories の順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 Done を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 Where To? > Saved の順に選択します。
- 2  > Delete の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、Delete を選択します。

ルートに従う

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する, 26 ページ) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 26 ページ) などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (ナビゲーションを開始する, 22 ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (ルートを形成する, 25 ページ)。
- ルートに複数の目的地を追加できます (ルートに場所を追加する, 25 ページ)。

ナビゲーションを開始する

1 Where To? を選択し、場所を検索します (位置の検索と保存を行う, 15 ページ)。

2 位置を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、Go! を選択します。
- 代替ルートを指定するには、 を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
- ルートの経路を編集するには、 > Edit Route を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します (ルートを形成する, 25 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (地図上のルート, 23 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (ルートに場所を追加する, 25 ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

1 View Map を選択します。

2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。

3 必要な場合は、 を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。

地図上に位置マーカー (色つきのドット) が表示されます。

4 次の中からオプションを選択します。

- 位置マーカーを選択します。
- ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。

5 Go! を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

1 Where To? > Go Home の順に選択します。

2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

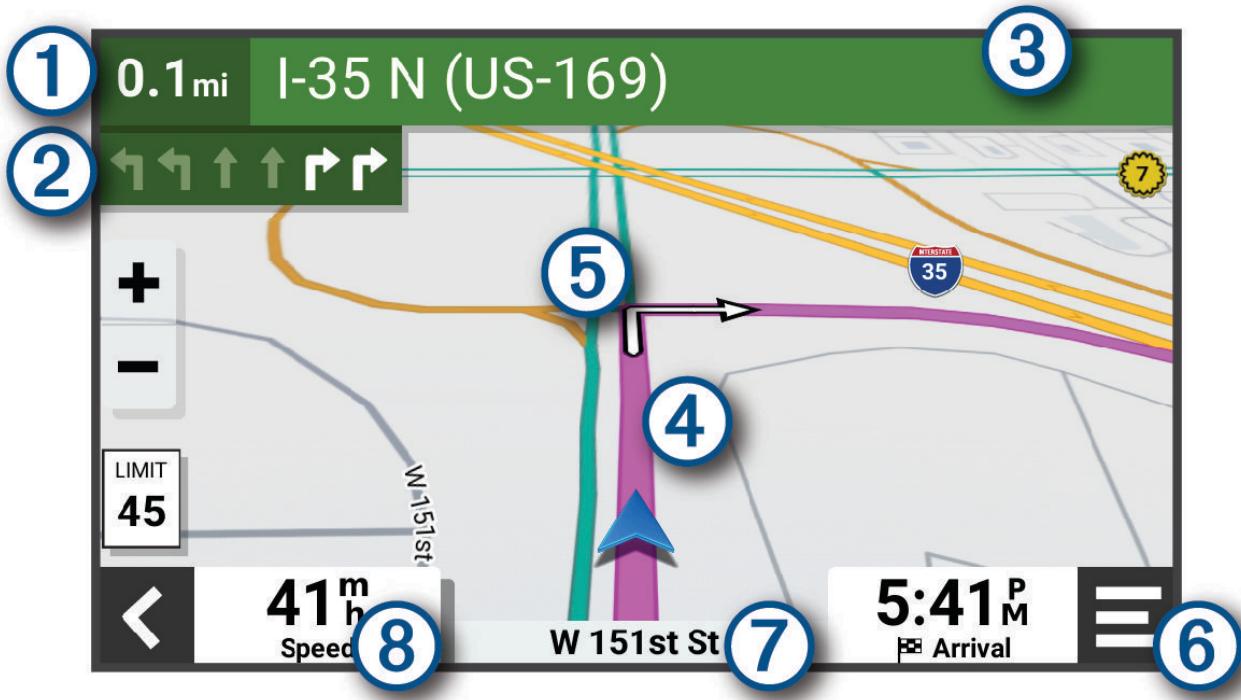
自宅の場所を編集する

1 Where To? >  > Set Home Location の順に選択します。

2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

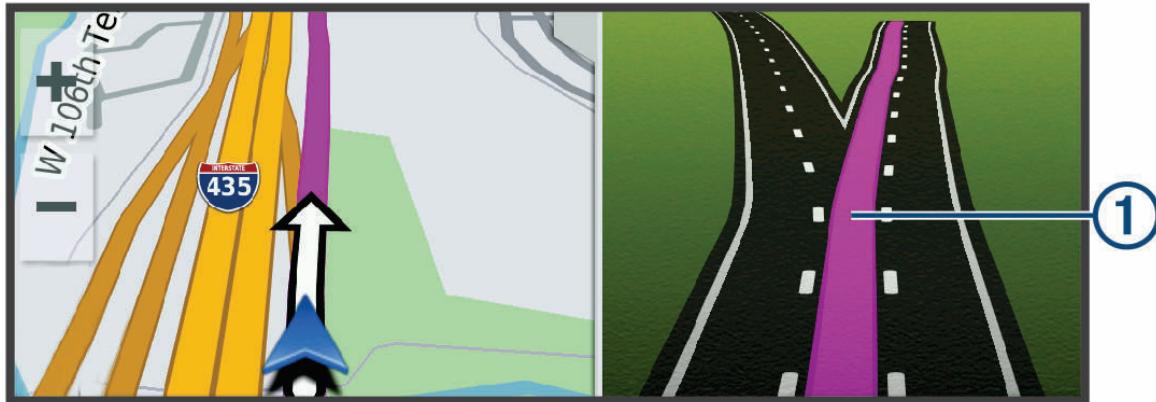
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- | | |
|---|--|
| ① | 次のアクションまでの距離。 |
| ② | ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび(利用可能な場合)走行すべきレーンを示します。 |
| ③ | 次のアクションに関連する通りや出口の名前。 |
| ④ | 地図上に強調表示されたルート。 |
| ⑤ | ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。 |
| ⑥ | 地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。 |
| ⑦ | 走行中の道路の名前。 |
| ⑧ | 車速。 |

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、**≡ > Turns** を選択します。地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します（オプション）。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- は地図上の目的地の場所を示し、音声プロンプトが目的地に近づいていることを知らせます。
- 一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。More を選択すると、推奨駐車場の全リストを表示できます（[（目的地の近くの駐車場, 25 ページ）](#)）。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しない場合は、**≡ > Stop** の順にを選択してルートを終了できます。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。

1 次の中からオプションを選択します。

- デバイスが駐車場を提案したら、**More** を選択して、すべての推奨駐車場を表示します。
注：任意の推奨駐車場を選択すると、ルートが自動的に更新されます。
- デバイスが駐車場を提案していない場合は、**Where To? > Categories > Parking** の順に選択し、 > **My Destination** を選択します。

2 駐車場を選択し、**Go!**を選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ルートをナビゲートしている必要があります ([ナビゲーションを開始する, 22 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、ルートプランナーを使用して、ルートの計画、スケジュール、および保存ができます ([ルートを計画する, 38 ページ](#))。

1 地図から > **Where To?** の順に選択します。

2 位置を検索します ([位置の検索と保存を行う, 15 ページ](#))。

3 位置を選択します。

4 **Go!**を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ルートの次の目的地として場所を追加するには、**Add As Next Stop** を選択します。
- ルートの最後に場所を追加するには、**Add As Last Stop** を選択します。
- 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**Add to Active Route** を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 22 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

1 地図上の任意の場所を選択します。

2 **Shape Route** を選択します。

ヒント： を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。

3 **Go!**を選択します。

4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
- シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、**Remove** を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、≡ > **Edit Route** を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**Detour by Distance** を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**Detour by Road** を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 **Calculation Mode** を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **Faster Time** を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - ・ **Straight Line** を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。

ルート上の環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

この機能を使用する前に、環境ゾーン車両プロファイルをデバイスに追加する必要があります ([環境ゾーン車両プロファイルの追加, 42 ページ](#))。

ルート上の環境ゾーンを回避するには、ルートを開始する必要があります。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

デバイスにメッセージが表示されたら **Go!**を選択して、代替ルートを利用します。

ナビゲーションを停止する

地図で、≡ > **Stop** を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の場所を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([ナビゲーション設定, 42 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 36 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[**トラフィック設定**] でこのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 45 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、≡ > **Traffic** を選択します。
- 2 **Alternate Route** を選択します (利用可能な場合)。
- 3 **Go!**を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 1  > Navigation > Avoidances > Tolls and Fees の順に選択します。
- 2 Save を選択します。

道路の回避機能

- 1  > Navigation > Avoidances の順に選択します。
- 2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、Save を選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

- 1  > Navigation > Environmental Zones の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、Always Ask を選択します。
 - ・ 環境ゾーンを常に回避するには、Avoid を選択します。
 - ・ 環境ゾーンを常に許可するには、Allow を選択します。
- 3 Save を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 1  > Navigation > Custom Avoidances の順に選択します。
- 2 必要に応じて、Add Avoidance を選択します。
- 3 Add Avoid Road を選択します。
- 4 回避する道路区域の始点を選択し、Next を選択します。
- 5 道路区域の終点を選択し、Next を選択します。
- 6 Done を選択します。

エリアを回避する

- 1  > Navigation > Custom Avoidances の順に選択します。
 - 2 必要に応じて、Add Avoidance を選択します。
 - 3 Add Avoid Area を選択します。
 - 4 回避するエリアの左上隅を選択し、Next を選択します。
 - 5 回避するエリアの右下隅を選択し、Next を選択します。
- 選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 Done を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1  > Navigation > Custom Avoidances の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > Disable の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1  > Navigation > Custom Avoidances >  の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、Select All > Delete の順に選択します。
 - カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、Delete を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 23 ページ](#)) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 View Map を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 拡大または縮小するには、 または  を選択します。
 - ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、 を選択します。
 - 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、 を選択します。
 - ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、Go! ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 22 ページ](#)) を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

Stop: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

Camera: ダッシュカメラのコントロール表示し、前方衝突警告および車線逸脱警告を表示します。また、ダッシュカメラビューファインダーと運転支援設定を開くこともできます。

Edit Route:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 25 ページ](#))。

Mute Navigation: デバイスの音声をミュートします。

Cities Ahead: アクティブルートや高速道路に沿って今後の都市やサービスを表示します ([次の都市まで, 29 ページ](#))。

Up Ahead: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 29 ページ](#))。

Traffic: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 30 ページ](#))。この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

Trip Data: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 29 ページ](#))。

Turns: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 24 ページ](#))。

スマートフォン: 接続されているスマートフォンの最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する, 35 ページ](#))。

Weather: エリアの天気状況を表示します。

Music Player: メディアコントロールとメディア情報を表示します。

地図ツールを表示する

- 1 地図で  を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

この先

Up Ahead ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。カテゴリーを Up Ahead ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

- 1 地図から  > Up Ahead を選択します。
走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
 - ・ 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

Up Ahead ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

- 1 地図で、 > Up Ahead を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - ・ カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - ・ カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、Custom Search を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 Save を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

- 1 地図で、 > Cities Ahead を選択します。
高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。
- 2 都市を選択します。
デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。
- 3 場所を選んで、Go!を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、 > Trip Data を選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

- 1 地図から、 > Trip Data の順に選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。
トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップデータを表示する

トリップデータツールには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、Speed を選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ（走行した経路の記録）を保持しています。

1  > Map Display > Map Layers の順に選択します。

2 Travel History チェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

1 地図で、Speed を選択します。

2  > Reset Field(s)を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、Select All を選択します。
- Reset Overall Data を選択して、トリップ A と合計データをリセットします。
- オドメーターをリセットするには、Reset Trip B を選択します。
- 最高速度をリセットするには、Reset Max. Speed を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ（[\[トラフィック\]](#)、36 ページ）を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > Traffic の順に選択します。

地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。

2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

1 メインメニューで、 > Traffic を選択します。

2 必要に応じて、 > Legend を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

1 メインメニューで、 > Traffic を選択します。

2  > Incidents を選択します。

3 リストからアイテムを選択します。

4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

1  > Map Display > Map Layers の順に選択します。

2 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注: Speed はカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1  > Map Display > Driving Map View の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - Track Up を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - North Up を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - 3-D を選択すると地図が 3D 表示されます。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

△ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報(ライブトラフィックデータや天気情報など)を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([[トラフィック](#)], 36 ページ)。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する](#), 37 ページ)。

スマート通知: スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする

Garmin DriveCam デバイスをスマートフォンおよび Garmin Drive アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 31 ページ)。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、Garmin Drive アプリをインストールします。
- 2 Garmin DriveCam デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Bluetooth 機能を無効にする (Android™)

デフォルトでは、スマートフォンをペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

1  > **Wireless Networks** の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- すべての Bluetooth 機能を無効にするには、Bluetooth チェックボックスをオフにします。
- ハンズフリー通話のみを無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、**Phone Calls** チェックボックスをオフにします。

アプリの通知を表示または非表示にする (Android)

Garmin Drive アプリを使用して、Garmin DriveCam デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

1 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。

2  > **通知** の順に選択します。

スマートフォンアプリのカテゴリーのリストが表示されます。

3 カテゴリーを選択して、そのタイプのアプリの通知を有効または無効にします。

Bluetooth 機能を無効にする (iPhone®)

デフォルトでは、スマートフォンをペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

1  > **Wireless Networks** の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- すべての Bluetooth 機能を無効にするには、Bluetooth チェックボックスをオフにします。
- ハンズフリー通話を無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、**Phone Calls** チェックボックスをオフにします。

通知カテゴリーを表示または非表示にする (iPhone)

カテゴリーを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

1  > **Wireless Networks** の順に選択します。

2 **Smartphone services** を選択します。

ヒント：サービスがアクティブな場合は、が色付きで表示されます。

3 **Smart Notifications** を選択します。

4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

スマートフォンでビデオや写真を表示する

スマートフォンでビデオや写真を表示するには、Garmin DriveCam デバイスを Garmin Drive アプリとペアリングする必要があります ([スマートフォンとペアリングする](#), 31 ページ)。

注：ビデオや写真を表示している間は、デバイスが録画を停止し、アラートが無効になります。

1 スマートフォンの Garmin Drive アプリで、**ビデオと写真** を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 保存した写真やビデオを表示するには、**保存済み** カテゴリーからファイルを選択します。
- 保存されていない新しいビデオ映像を表示するには、**一時保存** カテゴリーからビデオを選択します。

スマートフォンを使用したビデオや写真の削除

1 スマートフォンに保存されているビデオや写真のリストを表示しているときに、**選択** を選択します。

2 1 つ以上のファイルを選択します。

3  を選択します。

スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、Garmin DriveCam デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注： ナビゲーションデバイスが Garmin Drive アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことが必要な場合があります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に  が色付きで表示されます (ワイヤレスネットワーク設定, 43 ページ)。

通知を受信する

△ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリ (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ) が実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注： 地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、OK を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
 - 通知を表示するには、View を選択します。
 - 通知を聞くには、View > Play の順に選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
 - 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、View を選択してからオプションを選択します。
- 注：** 追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

△ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ)。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、を選択するか、ポップアップが終了するのを待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、Play Message を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

- 1  > Smart Notifications の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

- 2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- ・ 通知を聞くには、▶を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しておりますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話に接続し、ハンズフリーデバイスとして使用できます ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ](#))。接続されている間は、デバイスで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

番号をダイヤルする

- 1  > Phone > Dial の順に選択します。

- 2 番号を入力します。

- 3 Dial を選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1  > Phone > Phone Book の順に選択します。

- 2 連絡先を選択します。

- 3 Call を選択します。

施設に電話をかける

- 1  > Phone > Browse Categories の順に選択します。

- 2 ジャンル別施設を選択します。

- 3 Call を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、Answer または Ignore を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1  > Phone > Call History の順に選択します。

- 2 カテゴリーを選択します。

通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。

- 3 通話を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出た時に利用できます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションのページを閉じた場合、任意の画面から  を選択して再度開くことができます。地図から発信者を選択することもできます。

- 会議通話を設定するには、**Add Call** を選択します。
- オーディオを電話に転送するには、**Call in Progress on Navigator** を選択します。
ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、**Keypad** を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、**Mute** を選択します。
- 電話を切るには **End Call** を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する](#), 21 ページ）。

1  > Phone >  > Set Home Number の順に選択します。

2 電話番号を入力します。

3 Done を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

 > Phone > Call Home の順に選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も Garmin DriveCam デバイスに自動的に接続できます。

1  > Wireless Networks の順に選択します。

2 接続を解除するデバイスを選択します。

3 Disconnect を選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

1  > Wireless Networks を選択します。

2 電話を選択して、Forget Device を選択します。

[トライフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようにデバイスを設定できます (トライフィック設定, 45 ページ)。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトライフィックデータを受信している必要があります。

- すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してトライフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料) (スマートフォンを使用してトライフィックデータを受信する, 36 ページ)。

トライフィックデータを利用できない地域もあります。トライフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトライフィックデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトライフィックデータを受信できます。

- デバイスを Garmin Drive アプリ (ライブサービス、トライフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ) に接続します。
- Garmin DriveCam デバイスで、 > Traffic の順に選択し、Traffic オプションが選択されていることを確認します。

トライフィックを有効にする

トライフィックデータを有効または無効にできます。

-  > Traffic の順に選択します。
- Traffic チェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- メインメニューで、 > Traffic を選択します。
- 必要に応じて、 > Legend を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- メインメニューで、 > Traffic を選択します。
-  > Incidents を選択します。
- リストからアイテムを選択します。
- 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

-  > Owner's Manual の順に選択します。
マニュアルは、ソフトウェアテキスト (言語およびキーボード設定, 45 ページ) と同じ言語で表示されます。
- Q を選択して、マニュアル (オプション) を検索します。

天気予報を表示する

注記

Garmin は天気予報データの正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気データを受信できます(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ)。

- 1  > Weather の順に選択します。

デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。

- 2 曜日を選択します。

選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1  > Weather > Current Location の順に選択します。

- 2 次の中からオプションを選択します。

- ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
- ・ お気に入りの都市を追加するには、Add City を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリを実行しているサポート対象のスマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ)。

- 1  > Weather Radar の順に選択します。

- 2  を選択して、レーダー地図をアニメーション化します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ)。

注: この機能を利用できない地域もあります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1  > Weather を選択します。

- 2 必要に応じて、都市を選択します。

- 3  > Weather Alerts の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります(ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ)。

自分の地域、自分のルート、または別の都市の道路の天候に関する道路状況を表示できます。

- 1  > Weather を選択します。

- 2 必要に応じて、都市を選択します。

- 3  > Road Conditions を選択します。

ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

ルートを計画する

ルートには多くの場所を含めることができます。少なくとも出発地と目的地を含める必要があります。出発地とは、ルートを開始する予定の場所です。別の場所からルートのナビゲーションを開始すると、デバイスには最初に出発地にルートを設定するオプションが表示されます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 **Route Planner > Create Route** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、計算モードを選択します。
注：デフォルトでは、Faster Time モードが選択されています。
- 3 出発点の場所を選択するオプションを選択します。
 - ・ 地図上で位置を選択します。
 - ・  を選択し、場所を検索します (検索バーを使用して位置を検索する、15 ページ)。
- 4 さらに場所を追加する場合は、手順 3 を繰り返します。
注：最後に追加する場所が目的地になります。
- 5 必要な場所をすべて追加したら、 を選択します。

ルートの場所を編集および並べ替える

- 1  > **Route Planner** の順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 位置を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をルートの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、 を選択します。

ルートのルートオプションを変更する

デバイスでルートが計算される方法をカスタマイズできます。

- 1  > **Route Planner** の順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートにシェイピングポイントを追加するには、**Shaping** を選択し、1 カ所以上の場所を選択します。
 - ・ ルートの計算モードを変更するには、ルートセグメントにタッチして計算モードを選択します。

保存したルートまでナビゲーションする

- 1  > **Route Planner** の順に選択します。
 - 2 保存したルートを選択します。
 - 3 **Go!**を選択します。
 - 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、**OK** を選択します。
 - 5 **Start** を選択します。
- デバイスは現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのルート目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合は、ルートプランナーを使用し、ルートを編集して保存できます。

- 1  > Route Planner > My Active Route の順に選択します。
- 2 いずれかのルートプランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 Save を選択すると、ルートが保存され、後で再びナビゲーションできます（オプション）。

ワイヤレスカメラ

接続された1台以上のワイヤレスカメラ（別売）からのビデオフィードを表示できます。

デバイスをワイヤレスカメラにペアリングする

ワイヤレスカメラを Garmin DriveCam デバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin DriveCam デバイスを最新のソフトウェアバージョンに更新します（[地図やソフトウェアの更新](#)、47ページ）。
 - 最新のソフトウェアがでない場合、デバイスがワイヤレスカメラに対応しない場合があります。
 - 2  > Wireless Camera > Add New Camera の順に選択します。
 - 3 画面の指示に従って、カメラのペアリングと設定を完了します。
- カメラとのペアリングプロセスを初めて完了した後、電源を入れると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

ワイヤレスカメラの表示

⚠️ 警告

このデバイスの目的は、適切な使用時に、状況を認識する能力を高めることです。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。注意散漫にならないように、車両が動いているときはディスプレイを注視しないようにしてください。

ホーム画面または地図から  を選択します。

ガイダンスラインの位置合わせ

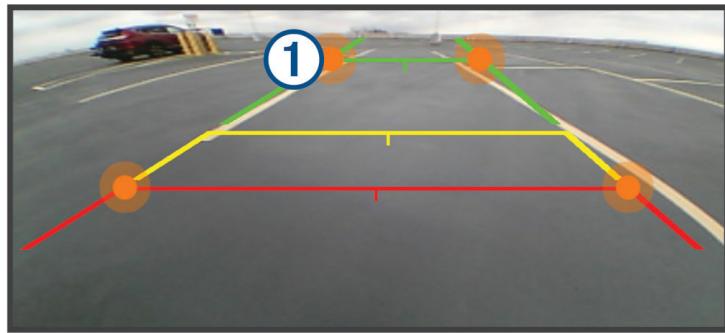
最良の基準点を得るには、車両の外端が反映されるようにガイダンスラインを合わせる必要があります。バックアップカメラごとに、ガイダンスラインを個別に合わせる必要があります。一部のモデルでは、カメラをペアリングした後に自動的に調整が可能になります。

⚠️ 警告

デバイスを使用する前、およびカメラの角度を調整した後は、ガイダンスラインが適切に位置合わせされていることを確認する必要があります。ガイダンスラインの位置を適切に合わせないと、事故や衝突が発生し、死亡、重傷、物的損害につながるおそれがあります。

- 1 車両の片側を縁石、私道、または駐車場区画線の近くに車両を配置してください。
駐車場区画の中央に車両を配置し、次の区画まで寄せることができます。これにより、車両後部の駐車場区画線を位置合わせの基準点として使用できます。
縁石、私道、または駐車場区画線がデバイス上ではっきりと見えるようにします。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ カメラビューで、画面をタップして、 を選択します。
 - ・ カメラビューから、 > Adjust Video の順に選択します。

- 3 ガイダンスライン①の隅にある円をドラッグするか、縁石、私道、駐車場区画線の角度と位置が一致するまで矢印をタップします。
ガイダンスラインは、基準点の上に直接表示されます。
ガイダンスラインの赤色またはオレンジ色の部分が車両の後部に揃うようにします。



- 4 必要に応じて、反対側を縁石、私道、または駐車場区画線に近づけて車両の位置を調整し、位置合わせプロセスを繰り返します。
車両が縁石、私道、または駐車場区画線と完全に一致していない場合でも、ガイダンスラインを対称に保つようにしてください。
- 5 位置合わせが完了したら、✓を選択します。

前のルートと目的地を表示する

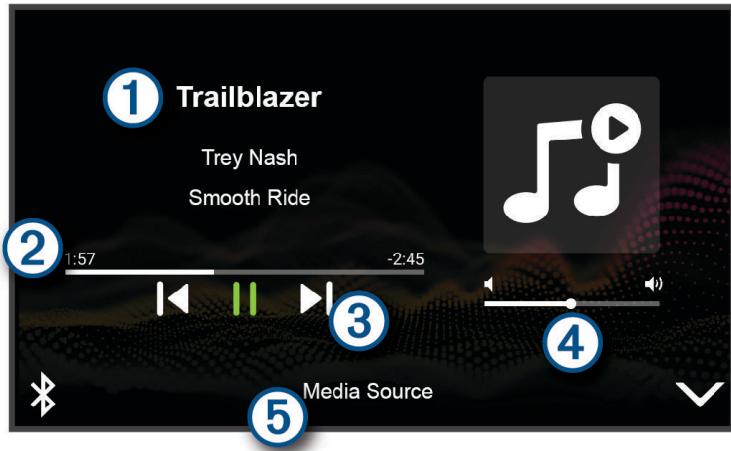
この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイスおよびプライバシー設定, 45 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

■ > Trip History の順に選択します。

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーを使用すると、ペアリングしたスマートフォンのメディアアプリから、現在再生している音楽をデバイスで制御できます。メディアプレイヤーは、メインメニューから Music Player を選択していくつでもを開くことができます。



- ① タイトル、アーティスト、アルバム、ステーション、チャンネルなどの現在再生中のメディアの情報。
- ② 現在のメディアアイテムを処理します。
- ③ 再生コントロール。コントロールは、メディアを提供するソースに基づいて変わります。
- ④ 音量の調節。スライダーで音量を調整できます。
- ⑤ 接続されているメディアソースの名前です。

マップにミュージックプレイヤーツールを追加する

ミュージックプレイヤーマップツールを使用すると、マップからミュージックプレイヤーをコントロールできます。

- 1 マップを開きます。
 - 2 **≡ > Music Player** の順に選択します。
- マップにミュージックプレイヤーのコントロールが表示されます。

設定

地図および車両設定

⚙ > Map Display の順に選択します。

Map Vehicle Icon: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

Driving Map View: 地図の表示方法を設定します。

Map Detail: 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

Map Theme: 地図データの色を変更します。

Map Layers: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする](#), 30 ページ)。

Auto Zoom: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。 無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

myMaps: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント：追加の地図製品を購入するには、buy.garmin.com にアクセスしてください。

1  > **Map Display** > **myMaps** の順に選択します。

2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

 > **Navigation** の順に選択します。

Calculation Mode: ルート計算方法を設定します。

Avoidances: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

Custom Avoidances: 特定の道路や地域を回避することができます。

Environmental Zones: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

Restricted Mode: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS Simulator: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

 > **Navigation** > **Calculation Mode** の順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや所定ルートでの車両加速度データに基づいています。

Faster Time: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

Straight Line: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS シミュレータを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

1  > **Navigation** > **GPS Simulator** を選択します。

2 メインメニューで、**View Map** を選択します。

3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。

この位置の住所が画面の下部に表示されます。

4 位置の説明を選択します。

5 **Set Location** を選択します。

環境ゾーン車両プロフィールの追加

燃料タイプや排出ガス基準など、この車両専用の環境ゾーン設定の車両プロフィールを追加できます。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

1  > **Navigation** > **Environmental Zones** の順に選択します。

2 画面に表示される手順に従います。

ワイヤレスネットワーク設定

ワイヤレスネットワーク設定では、Wi-Fi ネットワーク、ペアリングされている Bluetooth デバイス、および Bluetooth 機能を管理できます。

 > **Wireless Networks** の順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

ペアリングされているデバイスの名前: ペアリングされている Bluetooth デバイスの名前はメニューに表示されます。デバイスの名前を選択して、そのデバイスの Bluetooth 機能の設定を変更できます。

Search for Devices: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

Friendly Name: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Wi-Fi: Wi-Fi テクノロジーを有効にします。

Saved Networks: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

Search for Networks: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 47 ページ](#))。

運転者支援の設定

 > **Driver Assistance** の順に選択します。

Driver Alerts: この先の工事ゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 11 ページ](#))。

Speeding Alert: 制限速度を超えている場合には、警告を発します。

Reduced Speed Tone: 制限速度が低下すると警告します。

Route Preview: ナビゲーションを開始すると、ルート上の幹線道路のプレビューを表示します。

Break Planning: 長時間運転すると、休憩を促したり、次のサービスを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

Proximity Alerts: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

Forward Collision Warning: 前方衝突警告を有効にして感度を設定できます。感度を高くすると、感度が低い場合よりもアラートが早くなります。

Go Alert: 停止していた交通の流れが動き出すと警告を発します。

Lane Departure Warning: デバイスには、意図せず車線を越えた可能性があることを検出すると、警告を発する機能があります。

近接アラート設定

注： 近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI (主要ポイント) がロードされている必要があります。

注： この機能を利用できない地域もあります。

 > **Driver Assistance > Proximity Alerts** の順に選択します。

Audio: 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

Alerts: アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

ダッシュカメラの設定

 > Dash Cam を選択します。

Camera Placement: 車両の高さとカメラ位置の設定を許可し、ダッシュカメラの位置合わせをします。

Record on Startup: デバイスをオンにしたときにダッシュカメラでビデオの録画を自動的に開始できるようにします。

Video Resolution: ダッシュカメラ録画の解像度と画質を設定します。

Incident Detection: 事故検出機能の感度を設定します。運転中の事故を検知すると、デバイスが自動的にビデオを保存します。

Data Overlay: 録画されたビデオに日付、時刻、位置、速度の情報を含めます。

Unsaved Footage: デバイスが未保存のビデオ映像を削除するタイミングを決定します。Delete When Full オプションを選択すると、メモリーカードのストレージがいっぱいになると、最も古い未保存のビデオが削除されます。Promptly Delete オプションを選択すると、デバイスは 3 分超経過した未保存のビデオを継続的に削除し、電源を切るたびに未保存のビデオをすべて削除されます。これはデータのプライバシー保護に役立ちます。Promptly Delete オプションを選択している間は、未保存のビデオをギャラリーに表示することはできません。

ワイヤレスカメラ設定

ワイヤレスカメラ設定では、ペアリングされた Garmin ワイヤレスカメラとカメラ設定を管理できます。このメニューの設定は、ワイヤレスカメラが Garmin DriveCam デバイスに接続されている場合のみ表示されます。ワイヤレスカメラと Garmin DriveCam デバイスとのペアリングの詳細については、ワイヤレスカメラのマニュアルを参照してください。

バックアップカメラ設定

 > Wireless Camera の順に選択し、バックアップカメラの名前を選択します。

Flip Video: ビデオを上下または左右に反転できます。

Guidance Lines: カメラのビデオに表示されるガイダンスラインの環境設定を設定します。

Rename: ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

Set Default Camera: カメラがカメラビューに表示される順序を設定します。リストの一番上にあるカメラがデフォルトのカメラで、カメラビューが表示されるたびに最初に表示されます。

Unpair: ペアリングされているカメラを削除します。

Automatic Activation: Garmin ナビゲーションデバイスの電源を入れるたびに、ナビゲーションデバイスにデフォルトのカメラビューを自動的に表示できるようにします。ナビゲーションデバイスがイグニッション運動電源コンセントに接続されている場合、この機能により、車両の始動時にバックアップカメラを自動的に表示できます。

Video Resolution: カメラのビデオ画質を設定できます。解像度を高く設定すると、詳細な画像が得られますが、バッテリーの消費量が多くなります。

注：この設定は、すべてのナビゲーションデバイス製品モデルで使用できるわけではありません。

ディスプレイ設定

 > Display の順に選択します。

Color Mode: 昼または夜のカラー モードを選択できます。Auto オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

Brightness: ディスプレイの輝度を調節できます。

Display Timeout: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

Screenshot: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

メインメニューで、 > **Traffic** の順に選択します。

Traffic: トラフィック機能を有効にします。

Current Provider: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。Auto オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

Subscriptions: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

Optimize Route: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する, 26 ページ](#))。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、 > **Units & Time** の順に選択します。

Current Time: デバイスの時間を設定します。

Time Format: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

Units: 距離の測定に使用する単位を設定します。

Position Format: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、**Automatic** を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから  > **Language & Keyboard** を選択します。

Voice Language: 音声案内の言語を変更します。

Text Language: 画面上のすべてのテキストを選択した言語に設定します。

注：テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

Keyboard Language: キーボード言語を有効にします。

デバイスおよびプライバシー設定

 > **Device** の順に選択します。

About: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

Regulatory: 規制のマーキングおよび情報を表示します。

EULAs: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注：システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

Software Licenses: ソフトウェアライセンス情報を表示します。

Device Data Reporting: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

Travel History: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、走行履歴機能を使用したり、myTrends 推奨ルートを使用したりできます。

Reset: 走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

1  > **Device** > **Reset** を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 走行履歴を消去するには、**Clear Travel History** を選択します。

このオプションを選択すると、これまでに走行した場所の全記録が削除されます。保存した位置情報やインストール済みの地図は削除されません。

- ・ すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**Reset Default Settings** を選択します。

このオプションを選択してもユーザーデータは削除されません。

- ・ すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**Delete Data and Reset Settings** を選択します。

このオプションを選択すると、保存した位置情報、最近検索した場所、走行履歴など、すべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。

2 **Device** > **Regulatory** を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20°C ~ 55°C (-4°F ~ 131°F)
充電温度範囲	0°C ~ 45°C (-32°F ~ 113°F)
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

・ デバイスを車両電源に接続します。

・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。

2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- ・ デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます（推奨）。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- ・ デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます garmin.com/express。

Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

- 1  > **Wireless Networks** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、Wi-Fi を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。
- 3 **Search for Networks** を選択します。
デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。
- 4 ネットワークを選択します。
- 5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、**Done** を選択します。

デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([Wi-Fi ネットワークへの接続](#), 47 ページ)。

Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合、 がメインメニューの  アイコンに表示されます。

2  > **Updates** を選択します。

デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**Update Available** が Map または Software の下に表示されます。

3 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**Install All** を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**Map > Install All** の順に選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**Software > Install All** の順に選択します。

4 使用許諾契約を読み、**Accept All** を選択して使用許諾契約に同意します。

注：使用許諾契約に同意しない場合、**Reject** を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスの外部電源に接続して **Continue** ([デバイスを充電する](#), 46 ページ)。

最良の結果を得るには、出力が 2 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。

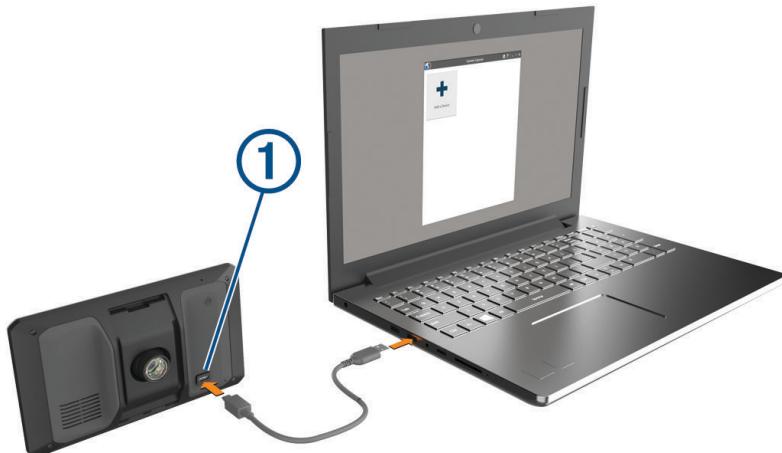
6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント： 地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com /express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 50 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は Garmin DriveCam デバイスの USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin DriveCam デバイスで **Tap to Connect to Computer** 選択します。
- 5 Garmin DriveCam デバイスでファイル転送モードに切り替えるか確認されたら、**Continue** を選択します。
- 6 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加** をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 7 **デバイスの追加** をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



8 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、すべてインストールをクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、詳細の表示をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注：地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります（[地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する](#)、52 ページ）。

9 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

2 次の中からオプションを選択します。

- システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、システム要件を選択します。
- Windows コンピュータにインストールするには、ダウンロード（Windows）を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、ダウンロード（Mac）を選択します。

3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。

2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

4 力を入れずに画面を布で拭きます。

カメラレンズのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

録画ビデオの品質を改善するため、カメラレンズを定期的にクリーニングする必要があります。

- 1 必要に応じてイソプロピルアルコールで湿らせた、傷を付けないレンズクロスでレンズを拭きます。
- 2 レンズを空気乾燥させます。

盗難防止

- ・ 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。
- ・ 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ・ ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- ・ Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスの上部を下に傾けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.7 以降に対応しています。

メモリカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。このデバイスは、4~512 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。32 GB を超えるメモリーカードは、デバイスを使用してフォーマットする必要があります。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します ([Garmin DriveCam デバイスの概要, 1 ページ](#))。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込んでください。

ダッシュカーメラのメモリーカードのフォーマット

ダッシュカーメラには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

メモリーカードの耐用期間を延ばすには、少なくとも 6 か月に 1 回はメモリーカードをフォーマットしてください。新品のメモリーカードでも、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- 1  > **Gallery** を選択します。
- 2  > **Format Memory Card** の順に選択します。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 Garmin DriveCam デバイスで **Tap to Connect to Computer** 選択します。
- 4 Garmin DriveCam デバイスでファイル転送モードに切り替えるか確認されたら、**Continue** を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 52 ページ](#))。コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

1 次の手順を実行します。

- Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
- Apple® コンピュータでデバイスを選択し、[ファイル] > [取り出す] を選択します。

2 コンピュータからケーブルを取り外します。

トラブルシューティング

録画したビデオがぼやけている

- カメラレンズをクリーニングします ([カメラレンズのクリーニング](#), 51 ページ)。
- カメラの前にあるフロントガラスをクリーニングします。
- カメラの前にあるフロントガラスの領域がフロントガラスのワイパーできれいになることを確認し、必要に応じてデバイスを移動します。

メモリカードが劣化して、交換する必要がある

すべての microSD メモリカードは、上書きが何度も繰り返されると損耗します。カードを定期的にフォーマットすると、耐用年数が伸び、パフォーマンスが向上します。ダッシュカーナーは継続的に録画するため、メモリーカードを定期的に交換する必要があります。お使いのデバイスはメモリーカードのエラーを自動的に検出し、メモリーカードをフォーマットまたは交換する時期になると警告を出します。

メモリカードの耐用期間を延ばすには、以下の対応を実施できます。

- メモリーカードは 6 か月に 1 回以上フォーマットしてください。
- デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから、必要に応じてメモリーカードを交換します。
- 車両を使っていないときは、デバイスの電源をオフにします。
デバイスがイグニッション連動の車両電源コンセントに接続されていない場合は、ダッシュカーナーが不要な映像を録画しないように、車両を使っていないときはデバイスの電源をオフにしてください。
- 大容量のメモリーカードを使用してください。
大容量のメモリーカードはあまり頻繁に上書きされないため、通常は長持ちします。
- 速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリーカードを使用します。
- 交換用のメモリーカードは、高品質のメーカー評判の良い販売店から購入してください。

録画したビデオが途切れる / 不完全

- カメラおよびビデオの最適な撮影結果が得られるように、速度レーティングクラス 10 以上の高品質のメモリーカードを使用します。
低速のメモリーカードではビデオの録画速度に追いつかない場合があります。
- カメラへのワイヤレス接続を使用してスマートフォンでビデオを表示している場合は、ワイヤレス干渉がない別の場所でビデオを表示するか、ビデオをスマートフォンに転送してみてください。
- 重要な記録をコンピュータまたはスマートフォンに転送し、メモリーカードをフォーマットします。
- デバイスにメモリーカードエラーアラートが表示された場合は、まずメモリーカードをフォーマットしてから、必要に応じてメモリーカードを交換します。
- デバイスを最新のソフトウェアに更新します ([地図やソフトウェアの更新](#), 47 ページ)。

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (取り付けに関する注意事項, 2 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターの電源がオフになっていることを確認します (ナビゲーション設定, 42 ページ)。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 44 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 44 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 6 ページ)。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (ワイヤレスネットワーク設定, 43 ページ)。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 4 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

-  > Wireless Networks の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持っています。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした電話を削除する, 35 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります (ライブサービス、トライフィック、およびスマートフォン機能, 31 ページ)。

付録

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 Maps タブをクリックします。
- 3 画面に表示される手順に従います。

アクセサリーを購入する

- オプションのアクセサリーは、garmin.com または Garmin 販売店から入手できます。

欧洲排出ガス基準

欧洲排出ガス基準は、欧洲で販売される新車から放出される大気汚染物質の量を制限する排出ガス基準です。車両の排出ガス基準は、車両の操作マニュアル、車両登録文書、または車両のドアフレームの印刷で確認できます。車両の排出ガス基準が見つからない場合は、車両のディーラーもしくはメーカーに詳細をお問い合わせください。

support.garmin.com